

小田原創友クラブ

第83号

【発行】小田原市老人クラブ連合会
〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】株博報社関東本社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



会長就任挨拶

小田原市老人クラブ連合会(小田原創友クラブ)
会長 平井 良一

令和6年度小田原創友クラブの役員改選に伴い、会長職を拝命いたしました平井良一です。令和7年には創立60周年という節目を迎えます。数多くの先人たちが築き上げてきた伝統あるクラブの会長という重責に畏敬の念を抱いております。

人生百年時代にあつて、60代70代はまだ漬垂れ小僧子扱いですが、コロナ禍の影響で今まで曖昧にされてきた部分が、白日の元に曝されて、組織が抱える課題が明確になってきています。

日本人の平均寿命が延びて人生を謳歌する高齢者がいる一方で、団塊の世代・戦時派などと一括りにされて、社会の中に埋もれて立場が弱くなりつつあります。

創友クラブは、高齢者が健康で人生を楽しくするために、仲間と共にスポーツ・文化交流や親睦交流を深めていきたいと考えています。

最盛期に比べると会員数も単位クラブ数も半減して、事業活動にも陰りが出ていますが、厚生労働省が提唱している新しい生活様式に沿った形で、事業計画から組織運営まで推し進めていく予定です。地域社会の中で高齢者の居場所づくりを、社会福祉協議会と力を合わせていきます。

地域で暮らす高齢者一人ひとりが、生きがいを見つけ、健康で安心して暮らせるように、私たち創友クラブ会員は、仲間づくりの輪を拡げていきます。

最後に、会員の皆様方が今後益々ご精進されて、明るく未来の展望を語り合えるよう、ご協力の程、深くお願い申し上げますと共に、ご健勝を心より祈願しております。



水之尾から望む小田原の海

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

就退任のご挨拶



新任
総務部

曾我 祐行

この度、甚だ僣越ながら総務部長を拝命いたしました。微力ではございますが、会員皆様方のご支援ご協力をいただき、小田原市老人クラブ連合会の発展のために努力していく所存でございます。

総務部の役割は、老人クラブ連合会の会長を補佐し、クラブ運営の企画及び予算に関する事、クラブ組織拡大強化に関する事、社会活動に関する事、渉外に関する事として、その他部門に属さない事柄について各部門の調整を行い、連合会の円滑なる運営を行うことと規約に定められています。而して、これらを実践するためには、かなりの経験と実績が必要かと

思われますが、浅学非才の身故に心もとなく、身の丈に合った精一杯の取り組みを心掛けることが肝要だと思っております。

就中、クラブの組織拡大強化につきましては、加入促進運動を継続していくことはもちろんのこと、市老連、地区老連そして単位クラブの事業や活動に、顔の見えるお隣さんをお誘いし、相互に健康で心豊かな日々を過ごせるよう仲間づくり、生き甲斐づくりをまい進するところが、やがては会員増強につながることでありと考えております。どうぞご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



新任
財務部

清水 孝男

この度令和6年度小田原市老人クラブ連合会の役員改選に伴い、淺岡紳様の後任として財務(一般会計)という重責を担うこととなりました。清水孝男でございます。小生といたしましてこのような重責をいただきましたこと、不安が先に立ちただかっているのが現状です。しかし行動を起こさなければドアは開かないということから前向きに捉え、浅学非才

の身ではございますが、今後、前任者の方針を受け継ぎ、粉骨砕身、小田原市老人クラブ連合会発展に微力ではありますが、ですが尽力いたす覚悟でございます。なにとぞ、今後とも会員皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中にて、就任のご挨拶を申し上げます。



厚生部

北村 時夫

昨年に引き続き厚生部長の要職を拝命いたしました。北村でございます。本年も会員の皆様のお力添えを賜り、厚生部の任務に全うしたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

改選に伴い厚生部員6名中2名が退任されました。新規に2名が部員として協力をしてくださいませ。業務としては、研修旅行、友愛チームなどであり、研修旅行については、4年間コロナ感染症で中止となっていました。5年春季に日帰りバスの旅行、秋季には泊研修旅行を、6年春季にも日帰りバス旅行を実施しました。この3回の旅行の中で参加者にアンケートの協力をお願いしました。内容については、いろいろと意見がありました。好評の言葉が多数ありました。

アンケート1件紹介
「焼津さかなセンターの食事美味しかった、年寄りの事でこれ位のゆとりは行程は身体に負担が少なく、よしの思いです。今後よろしくお願い申し上げます。感謝と御礼の挨拶とします」

宿泊では、参加者が少ない。会員が皆高齢者となり参加が無理かも。その為に近郊でゆとりがあつて楽しくできるよう選んでいます。坂、階段、見学する場所は駐車場が近い所との意見もありこのような事を充実した企画し実施をする事にします。会員の多数参加をお願いします。

検討事項

厚生部長として、今後春季は日帰り、秋季は宿泊としたらと願っています。会員の皆様のお待ちしています。

友愛チーム

友愛チームは、地域ごとにさまざまな活動を進められている、地域福祉推進の担い手となって活動をしていきます。地域で在宅の見守りが必要。一人暮らしや介護者、高齢者世帯を訪問し、支援活動を行っている。本年は、役員改選があり、内容について理解ができないとの意見あり、リーダー研修会を友愛チームの資質向上を図ることを目的に開催します。

一市三町リーダー研修会にも参加し今後の活動に生かしたいと思えます。グループ毎に、情報交換するよう開催する。



体育部

片山 勝

昨年に引き続き体育部長を担わせて頂く事になりました。専門は陸上競技(長距離)です。皆様方のご支援、ご協力を賜わり体育部の任務に邁進する所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。

- ①クラブ運動会の開催
- ②クラブ運動向上の為の指導
- ③老人運動の推進及び健康増進

これらを推進するため市老連として、次の行事を実施致します。

- * 創友クラブグラウンドゴルフ大会
- * 健康作り事業「体力測定」
- * 仲間同士の交流、親睦を図る

「シルバースポーツ大会」会員の皆様は積極的に参加され、スポーツを通じて自身に合わせ「健康寿命」を延ばして下さい。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



教養部

朝見 健夫

前期に引き続き教養部を担当する朝見健夫です。よろしくお願いいたします。なにも未熟者で教養不足の私と新メンバーで一期頑張つてまいりました。今期は会員皆様方のより一層のご支援ご協力をいただき教養部の主な任務である

●会員の向上のため今以上の実のある老人大学の開催
●研修・見学・読書に関すること
●高齢者に役立つ「健康長寿」「健康づくり」などの研修会開催
高齢者が高齢者を見守るといふ活動が必要となつていながら、地域自治会や諸団体のご協力をいただき高齢者が住みやすい地域づくりに邁進していく所存です。



女性部

宮本多喜子

前年度に引き続き、女性部長を受けることになりました。宮本多喜子です。

ようやくコロナ禍も収まりつつありますが市老連内部でも高齢化が進み、役員の手が無いと解散するクラブが目立っています。

女性部のつどいや栄養教室、友愛チームの活動だけでなく、どの場面でも大いに女性の力を発揮して、会を盛り上げてゆきませんか。
皆様のご期待にそえるようがんばりますので、どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。



福祉友愛募金
特別会計担当

鈴木 幸一

昨年引き続き特別会計を担当いたします鈴木幸一です。会員の高齢化で祝い・お見舞対象者の増加と友愛募金の減少という流れは止まりませんが、昨年度は解散クラブ数が多かったために、本事業

経費も減り、財源確保に目処が立ちました。
今期も友愛募金に特段のご配慮をお願い申し上げます。会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



退任挨拶

前会長 山口 繁

この度、令和5年度をもって、小田原市老人クラブ連合会長を退任いたしました。在任中は会員の皆様方からご支援、ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。
顧みますと、小田原市老人クラブ連合会50周年の編纂に携わり、小田原市地域を新たな目で見直しできたこと、又、コロナウイルス感染に直面し、感染予防対策での取り組みがあります。感染予防対策における市老連の行事中止、延期等このような状況

下の中で、コロナ感染は大きく下火となつてきているもの。今後は地域、家庭等における健康づくりが、最重要課題となり、これまで築いてきたクラブ活動などが生かせるものと思つていきます。
結びに、大変お世話になりました。小田原市老人クラブ連合会のみならずの発展と、会員皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



財務担当退任にあたり

浅岡 綽

老人クラブとは老人福祉法のもと三大運動「健康」「友愛」「奉仕」の事業活動が位置づけられています。

思いおこせば平成21年緑地区老人会長(市老連会長)小瀬村氏による高齢者筋力向上教室開始にあたり取りまとめ役を頼まれたのが始まりで同時に竹の花(緑寿会)老人会長をお願いされました。翌平成22年には後任として緑地区老人会長をお受けすることとなり小田原市老人連合会理事役となりました。

2期4年後(平成24年)には元顧問(当時会長)の杉崎氏より財務担当の要請があり就任することとなりました。

多少経理の経験もありましたが民のそれとは仕組みが違って、交付金として「小田原市社会福祉協議会」「小田原市」「神奈川県」の3本柱による事業活動補助金と単位クラブの会費及び少々の事業収入をもって運営することでした。唯一多少の自由が出来たのは社協の補助金(但しご指導の元でのこと)のみでした。

少ない運営費の内、事務職員給与については杉崎会長と社協役員の多大なる努力とご協力により小田原市より別枠での補助金

を獲得することが出来ました。

就任当時は単位クラブ数150、現在令和6年度は52.7%の79又会員数は9511人が38.6%の3675人となっております。

そんな中でも在任中には創立50周年記念誌発刊にたずさわり、市老連大会での演芸大会の司会、新型コロナウイルス発病にも見まれ出来ない経験もしました。高齢化が進みクラブ数も会員数も減少をたどっています。非常に心配です。

新型コロナウイルスは昨年感染病第5類となりインフルエンザと同等の取り扱いとなりました。根が無くなつたわけではありません。十分に注意をしての活動が必要と思われま

す。
今後については、常任理事の皆様、理事各位、事務職員と社協の担当の方、更に小田原市高齢介護課のご協力を賜り創友クラブの心である友を創ることを希望します。

結びにあたり関係各位のますますのご健勝とご多幸を心より念じ感謝とお礼を申し上げます。退任のあいさつといたします。
ありがとうございます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

令和6年度新役員名簿(★新任)

役職	氏名	地区名	備考
顧問	山口 繁	山王網一色	★市老連専従
会長	平井 良一	十字	★
副会長・総務部長	曾我 祐行	下曾我	★
副会長・厚生部長	北村 時夫	久野	
副会長・教養部長	朝見 健夫	幸	
副会長・体育部長	片山 勝	桜井	
副会長・女性部長	宮本多喜子	片浦	
財務	清水 孝男	二川	★
財務	鈴木 幸一	大窪	
監事	高橋 孝一	新玉	
監事	関口 昌己	国府津	★
理事	森末 建	緑	★
理事	村山 雄二	新玉	
理事	川田 康弘	足柄	
理事	山本日出夫	芦子	★
理事	木村 賀茂	東富水	
理事	新井 知功	下府中	
理事	上杉 馨	豊川	
理事	小池 規雄	上府中	
理事	片野 静民	国府津	★
理事	鈴木 良紀	酒匂	
理事	高杉 都子	片浦	★
理事	中津川 隆	曾我	★
理事	井田 堯明	下中	
理事	宇佐美 功	富士見	★
理事	石井いく子	緑	

令和6年度の総会が開催されました

令和6年度小田原市老人クラブ連合会総会が6月7日(金)午前10時00分より、おだわら総合医療福祉会館4階ホールにて開催され、議事案件の審議・承認が行われました。

平井会長の司会で始まり、片山副会長の開会のことば平井会長の挨拶と加藤憲一小田原市長並びに林良英小田原市社会福祉協議会常務理事のご挨拶をいただいた後、議案審議に入りました。

令和5年度事業報告、一般会計収入支出決算報告、福祉友愛募金特別会計収入支出決算報告、基金等積立金報告、監査報告など

その後、拍手をもって全ての議案が承認されました。

続いて、令和6年度事業計画(案)、一般会計収入支出予算(案)、福祉友愛募金特別会計収入支出予算(案)について各担当者から説明があり、質疑応答の後、これらの議案も拍手にて承認されました。

最後に、朝見副会長の閉会の言葉で終了いたしました。(文・教養部)



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

令和6年度事業計画

【基本方針】

小田原市老人クラブ連合会は、単位クラブとの連絡調整を密にし、会員相互の親睦と会員の健康増進並びに教養をより一層高めるため各種事業を展開する一方、地域の関係諸団体との交流を図りながら地域社会に貢献するとともに高齢者福祉の向上に努める。

主な事業			主な事業		
1	社会見学と研修旅行	春：4月上旬～中旬	11	社会奉仕の日	9月20日頃
2	女性部会研修会 「食で生き生き!栄養教室」	8月～2月予定 ※男性限定1回含む	12	社会見学と研修旅行	秋：9月下旬～10月上旬 方面未定
3	小田原市慰霊塔清掃奉仕	5月～3月 ※7月～9月無し	13	単位クラブの強化推進 (加入促進運動)	10月～3月
4	令和6年市老連総会	6月7日(金)	14	生きがいふれあいフェスティバル ・シルバー作品展	10月20日(日)
5	友愛チームの活動推進 および研修会	7月30日(火)	15	老人クラブ開放 ・地域連携モデル事業	10月20日(日)
6	第59回老人大学	全2回：9月・1月	16	第49回小田原市 シルバースポーツ大会	11月7日(木)
7	『小田原創友クラブだより』の発行	全2回：8月・1月	17	小田原創友クラブ グラウンドゴルフ大会	※中止のため 代替え事業検討中
8	健康づくり(体力測定等) 事業の推進	6月27日(木) ※男女合同	18	市老連大会	11月20日(水)
9	友愛募金運動の推進	8月～9月	19	単位クラブ会長研修会	2月上旬予定
10	友愛活動等支援事業 「女性部のつどい」	6月19日(水)・12月予定	20	小・中学校の児童・生徒との交流及び 防犯ボランティアパトロールの推進	
			21	その他、小田原市及び地区の行事に参加協力	

西湘ブロック関連事業

1	西湘ブロック老連連絡協議会の開催	4月15日(月) 開催：小田原市
2	西湘ブロック老連交流パークゴルフ大会	5月22日(水) 開催：湯河原町
3	高齢者訪問支援推進員養成研修会	未定 開催：湯河原町
4	単位クラブリーダー新任会長等研修会	未定 開催：真鶴町
5	ゆめクラブ大学事業	7月26日(金)
6	全国大会	11月20日(水)～21日(木)

【その他の活動】

- ① 国旗掲揚の推進 ② 在宅福祉事業への協力
- ③ 県老連事業への参加協力
- ④ 高齢者健康診断及び健康講座への参加
- ⑤ 歩け歩け運動への参加協力 ⑥ 敬老週間行事への参加協力
- ⑦ 環境美化活動の推進 ⑧ 交通事故防止の推進
- ⑨ 小田原市シルバー人材センターへの加入促進
- ⑩ 青少年育成会に協力

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

単位クラブ活動報告

幸地区

総会員数
93

小峰会	会長	朝見 健夫
二の丸会	会長	山室 清
宮壽会	会長	島田 常義

会員数

男8名	女22名	計30名
男9名	女21名	計30名
男8名	女25名	計33名

連合会長 朝見 健夫



幸地区は小田原城を囲むよう5単位クラブで構成されていましたが、令和6年4月1日現在諸般の事情で3単位クラブで活動しています。当地区は文教地区で小学校1校・中学校1校・高等学校2校・大学2校の6校の学校があります。3、4年前に国際医療福祉大学のグラウンドを借用してグラウンドゴルフ同好会を立ち上げ、毎週1回練習に励んでいます。

小田原は北原白秋が多くの童謡を創作したことでも有名です。茶畑歌の会(市老連大会芸能大会出場)は北原白秋に係るものと、また、懐かしい童謡、唱歌、わらべうたの中にある背景や作者がどんな気持ちで書かれたのか等をお

伝えしながら皆さんと楽しく歌の会をしております。茶畑歌の会は原則毎月第1水曜日に練習しています。(茶畑歌の会猪股典子先生談)

各単位クラブは地元環境美化・学童登校の際の挨拶運動、交通安全運動等を実施しております。小田原北条氏ゆかりの神社である松原神社は、毎年開催される北條五代祭りでは松原神社氏子である各地区の神輿が宮入りをします。是非、見ていただきたいと思えます。50メートル程の参道を神社の鳥居めがけてかけていく神輿の姿は圧巻です。

幸地区は3単位クラブになってしまいましたが、何とかクラブ数を増やそう頑張っていく所存です。



新玉地区

連合会長 村山 雄二

総会員数
77

新宿老友会	会長	村山 雄二
新宿ことぶき会	会長	田中 一乃

会員数

男16名	女26名	計42名
男10名	女25名	計35名



今回は、新玉地区における新宿町の名稱について調べてみました。

江戸時代前期、この町は、城の大手口の変更によって、東海道が北寄りに付けかえられた時にできた新町です。町は城下の出入り口である「山王口」に接していたので、藩主帰城の時の出迎え場所であったほか、郷宿(ごうやど)と言って、公用で藩御所などへ出向く村人が泊まる宿屋や茶店が並び、城下に2軒あった小田原ちようちんづくりの家のうち1軒がありました。

この町の初出は、正保2年(1645)の藩主稲葉氏の「自分日記」に「新宿足軽小屋」、「新宿通町御藩所」などがあります。
このように、早くから城下の東の出入り口であることを示しています。



また、老人会活動として、町内一斉美化活動、新年会の開催、会員によるフラダンス活動、市老連主催の各種催物活動の参加などがあげられます。今年は、3年ぶりに新年会が行われ会員の親睦を図ることが出来、大盛況のうちに終わりました。
最後に、これからも、楽しく、健康に気をつけて、老人会活動を盛り上げていきたいと思えます。



十字地区

連合会長 平井 良一

総会員数 30

西海子クラブ
会長 平井 良一

会員数
男10名 女20名



シルバースポーツ大会入賞祝勝会

『十字地区』は小田原城南側に位置するエリアで5つの自治会で構成されており、それぞれに老人会がありました。昭和40年当初から組織として活動を続けて、平成16年に組織替えが行われて、4つの老人クラブが活動を再開いたしました。令和の時代に入りコロナ禍があつて、クラブ活動は悉く中止に追い込まれて休眠状態になりました。

が主体ですので、身体を動かすスポーツ系より絵画・合唱など教養文化的活動が多いです。それと温泉と食事を楽しむバス旅行を毎年行っております。年々寄る年波には勝てず参加者数も減ってきておりますが、「お楽しみ会」と称するサロン会には、毎回ゲストを迎えて半日楽しい時間を過ごしております。直近のサロン会では、地域内にあるお寺の住職をお招きして、やさしい法話をしていただきました。このサロンの特長は、企画は会員からのリクエストによるものであり、会員以外の参加者も認めていて、オープンに運営されていることです。私たちのクラブ活動は、高齢者の社会参加活動と居場所づくりを目指しています。決して参加を強いることなく、無理せず本人のペースに合わせています。会員同士もゆるやかでしなやかな集まりです。現在会員数は少なくなっておりますが、69歳から101歳の会員が活動しております。

緑地区

連合会長 森末 建

総会員数 144

城山むつみ会	会長 大森 一学
駅前2区緑栄会	会長 森末 建
第5区寿会	会長 坂本 綽
竹の花緑寿会	会長 浅岡 綽

会員数

男 8名	女 22名	計 30名
男 14名	女 33名	計 47名
男 15名	女 16名	計 31名
男 20名	女 16名	計 36名

緑地区は小田原駅に近い市街地で昔からの住人は、店舗と住宅を別に構え、夜間人口は減少していた。近年はマンション建設が進み、新しい住人が増え、学区の三の丸小学校は小田原市内で唯一児童数が増加している。若い世帯が多く、老人会活動に参加する人は少ない。発足当初は7地区あつたが5地区になり、今年度は4地区に減少している。役員を受ける人も見つかりにくい。これからの対策が必要と考えているが、課題は多い。緑地区としては、月1回各地域の会長が集まり会長会議を開催している。本部からの連絡事項や各地区の取り組みなどを報告しあつている。緑地区合同で講師を招き、高齢者筋力向上トレーニング教室を毎週行っている。参加者が多く、20人以上集まり和気あいあいと楽しく取り組んでいる。成果もあり、10年以上続いている。



竹の花緑寿会

る。しめ飾りづくりを計画し、地域住民と交流し、人生のベテランの力の発揮場所になっている。月ごとに老人会便りの発行や三の丸小学校児童の下校見守り、地域の清掃活動や小田原短期大学学生との交流も行っている地区がある。コロナ禍以前は、緑地区で入湯会、日帰り旅行なども行っていたので、復活の希望も多く、今後考えていきたい。気軽に、誰でも参加できる行事を計画し、魅力ある催しを考えている。老人クラブ入会者を増やす道へともつながら。各地区が明るくみんな楽しんで、有意義な集まりになるようにすすめていきたい。



城山むつみ会



駅前2区緑栄会



第5区寿会

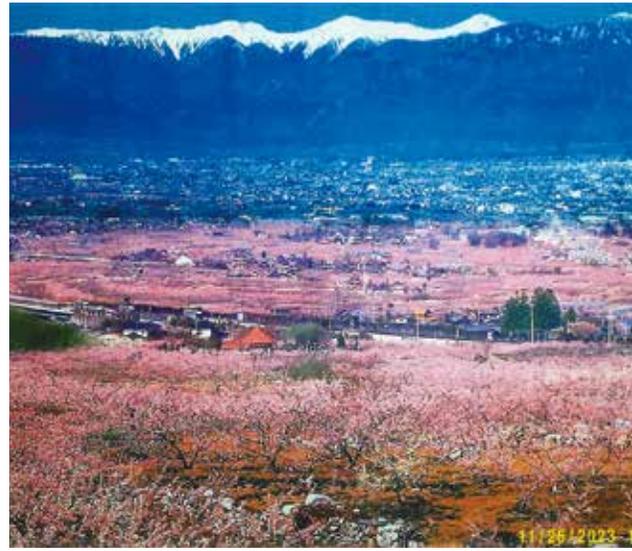


春季バス旅行

片浦地区 高砂会 宮本多喜子



桜や桃の花をバスの両側に見ながら、最初のみさか桃源郷に着きました。桃源郷は、畑一面菜の花が咲きほこり、その上に濃いピンクの桃の花が重なり、そのコントラストはすばらしいものでした。菜の花の香りが強く、桃の匂いは感じられませんでした。



4月5日、片浦地区を出発したのは朝7時、雨が降りそうな空でしたが、東名高速道路に入る頃には、霧が深くなり、あたりはまっ白で、まるで雲の中を走っているようでした。それでも甲府に着いた時には、雨も止み、霧も晴れていました。



何処へ行っても桜も桃も満開で本当に山梨の春を満喫した一日でした。

その後、勝沼ぶどう郷駅の桜トンネル甚六桜を見学、ワイナリーで試飲を楽しみました。



わせる様子でした。残った枝からは、糸桜の名にふさわしく、糸のように細い枝が垂れ下がり、薄紅の花を付けていました。その後、勝沼ぶどう郷駅の桜トンネル甚六桜を見学、ワイナリーで試飲を楽しみました。



午後はハーブ庭園を見学しました。チューリップはまだあまり咲いていませんでしたが、案内のお兄さんの話し方が面白く、皆で大笑いしました。次に慈雲寺の天然記念物「イトザクラ」を見に行きました。樹齢330年というこの桜は、幹は黒々として太く、高さ10メートルの上の方の枝は折れ



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

老人会旅行記

幸地区 宮寿会 島田 常義



私達22区宮寿会は、春の日帰り旅行に参加させて頂きました。バス1台で上府中地区と下府中地区、そして私達宮寿会は幸地区の計36名と添乗員、ガイドさんの案内で最初の目的地、小國神社へと向かい、途中足柄SAでトイレ休憩をして予定通り午前10時50分頃着、バスを降りて本殿に向かい参道を歩いてみると、現在も境内一帯には道の両側に杉がうっそうと繁り、参道跡も現存し、神秘を感じます。宮川のほとりに鎮座する小國神社は、遠江国一宮さまとして崇敬され親しまれています。御祭神は「おなむちのみこと」で神話に登場する心優しい「縁結びの神さま」と広く知られています。縁結びと言っても男女間だけでなく、いろんな方との良いご縁を結べるという風にガイドさんから説明がありました。



本殿に着いて、二拝二拍手、一拝しご挨拶、お参りを終えて池の方に歩くと白と赤のコントラストが美しいシヤクナゲが参道者を迎えてくれます。神社の脇にある小國ことまち横丁でおだんごやアイスを食べたりして、小休憩を取り楽しく過ごしました。昼食は焼津さかなセンターで海鮮丼と魚のしゃぶしゃぶを美味しく頂きました。



その後ゆい桜えび館でお土産を買って、帰りのバスの中でガイドさんの説明は、分かりやすく、私達が今日行った所以外の場所や歴史も話してもらえた為、なるほどと思いながら、いつの間にか時間が過ぎていきました。最後に神社の参道は階段が無かったのが、高齢者にはありがたかったです。今回の旅行に一緒にバスに乗った方々、幸地区の方々と一日過ごさせて頂きありがとうございました。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員投稿

創友クラブとの出会い

大窪地区

風祭白寿会 杉崎 智子

初めて紙面を見たのは60代後半だったとおぼろ気な記憶しかありません。白寿会の名前だけの会員だったのです。

75歳で怪我をして歩くのがやっとの時、家でブラブラしている私に、近所の役員さんが声を掛けて下さり、風祭白寿会の集いに参加しましたが、自分の居場所とは思えずにいました。初めて市老連の活動の一環で「慰霊塔の清掃」に参加。歩くのもおぼつかない私が「少しはお役に立てないのかな？」と思いました。それから、秋の研修旅行、市老連運動会、市老連クラブ大会等、ご近所さんとお掛けました。その行事の折「ともちゃん」と高校の同級生、元職場の仲間等何年ぶりの、思いがけ無い再会に、久し振りに喜々とした時を過ごしました。今も私の心に温かい思い出となっています。

そして、もう一つ。市老連クラブ大会です。流石、熟練の方々の熱演はすばらしく、特に「越中おわら風の盆」の歌と踊りは地元八尾で観た感動がよみがえり、「まさか小田原で観ることが出来るなんて」ともう一度拝見したい想いです。

落ち着いて創友クラブを読むと記事が、勉強になったり、役員さんの努力が伝わって来て、83号が手元に届くのが楽しみになっています。今、私は元気に歩ける様子を目標に、喜寿を迎えたいと願っています。



「百歳長寿」おめでとうございます！

(掲載対象者：大正13年3月～大正14年3月生まれ)

令和6年1月～令和6年8月までに100歳を迎えられた方



該当月	地区名	クラブ名	氏名	生年月日
1月	下曾我	福寿会	関野ハル子	大正13年1月31日
2月	芦子	入谷津喜楽会	岡部美年子	大正13年2月9日
3月	下曾我	若葉会	菅本チエ子	大正13年3月16日
	二川	多古新老会	小林貞子	大正13年3月19日
	大窪	大窪61区長寿会	小宮百代	大正13年3月20日
5月	東富水	堀之内第一福寿会	鈴木トキ	大正13年5月11日
6月	東富水	中曾根寿会	山崎幸衛	大正13年6月29日
7月	曾我	上曾我千歳会	徳田キミ江	大正13年7月7日
8月	曾我	上曾我千歳会	山根清子	大正13年8月7日

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会 員 文 芸

短歌

大窪地区 風祭白寿会

秋山 和子

秋

落葉ける葉もなき木々はさみしくて

夏柑のなる通りをぬけて

冬

霧上がりそぞろ歩いて黒塚の

南天の紅の妻籠の宿よ

(市老人会旅)

十字地区 西海子クラブ

神崎谷行雄

友が亡くなったと友から泣きながら

電話があつたときに

友ちりし散りゆく梅のなみだがわ

衣の袖はひる時もなし

まぼろしときえゆくとももの悲しみも

やがてここにいるもうれしき

片浦地区 高砂会

宮本多喜子

夕方の白糸川の欄干に

留まりたる鷺身動きもせず

雨後の庭に出来たる水たまりに

つばめが来ては水浴びをする

母の日に息子がくれしカーネーション

庭に植えれば色濃くなりぬ

俳句

酒匂地区 第二寿栄広会

大木 敬子

さくら時回転寿司の皿数へ

うすものや番付表に西東

十字地区 西海子クラブ

生田目茂子

春 春雪の報あり駅のアナウンス

夏 竹の子に昭和詰込む妣の味

川柳

十字地区 西海子クラブ

生田目茂子

出掛けには毎度さがすや忘れ物

婆会は猫の恋よりかしましき

訃報

杉崎 勲氏

小田原市老人クラブ連合会会長として牽引されました杉崎勲元会長ですが、6月11日に永眠されました。小田原市老人クラブ連合会の発展のため尽力されましたことに感謝申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。

原稿募集

「小田原創友クラブ」84号(令和7年冬号)に原稿をお寄せください。単位クラブ活動や仲間同士でのボランティア活動、特別な行事や地域の奇祭などに参加している様子を投稿ください。(活動している様子、行事の様子など写真を添付してください)

日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳などお寄せください。

- 紙面の都合で長文の場合は文章をカットまたは次号回しにする場合があります。
- 二重投稿、発表済のものは受け付けません。
- 必ず氏名・地区名・クラブ名・電話番号を明記ください。

発行 令和7年1月 締切日 令和6年10月末日

宛先 〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会 「小田原創友クラブ」教養部

会員募集中!!

60歳をすぎたら

シルバー人材センターへ

健康で、働く意欲のある高齢者の就業をサポートする公益社団法人です。民間企業・家庭・公共機関などから仕事を引き受け、会員に提供します。毎月第3火曜日に説明会を行っています。



連絡先 生きがいふれあいセンターいそしぎ内

☎0465(49)2333 【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

女性部

女性部長 宮本多喜子

♡のつどい

6月19日、友愛活動支援事業としての、女性部のつどいが開催されました。当日は各地区から2名ずつ、39名が出席してくれました。「和紙のかんたんクイリングネックレス」を作りました。和紙でビーズを作り、ひもに通すのですが、それがなかなか通らず苦心しました。それでも皆さん予定より早い時間に出来上がりました。楽しそうに話し合いながら作業し、帰りには首に掛けていました。また簡単に出来ることを考えていきたいと思います。これからも女性部の活動にご協力をお願いいたします。



あとかき

コロナウイルス感染症も大分下火となってきており、国内の観光もコロナ前に近く感じられるようになってきました。

お城に行ってみると、どこの国に来たのかと思われるように、特にアジア系の言葉が飛び交っています。

市老連も秋に向けての事業を実施すべき、状況を見ながら計画検討中で、コロナ前の状況になるよう、そして、事業が開催されることを願っています。

(教養部)



会員加入増強運動

小田原創友クラブの推進項目として

- ① 未加入者宅にパンフレットの投函。
- ② 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ③ 未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。
- ④ 単位クラブ2名以上の増員が最低目標。

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通して会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています
